



一日でも早く水道を復旧させたい

現地では、あちこちで家屋の倒壊、地面の隆起が見られ、水道管の破損により大部分が断水状態にありました。浄水場は復旧していましたが、水道管に充水し、漏水がないか確認作業を行いながら少しずつ通水エリアの拡大を行いました。地元の方からは、ねぎらいの言葉をかけていただき、大変励みになりました。

1日でも早く水道が復旧するように全国各地の水道事業者が継続的に応援を行っています。

☎ 上下水道課
079-435-2379



▲石川県穴水町で撮影
(作業期間1月29日～2月6日)

能登半島地震の被災地支援

避難所での生活を支援するため、担当地区の避難所を巡回し、困りごとや必要な物資の聞き取り調査を行いました。避難所には十分な水やインスタント食品が揃っていたこともあり、ビタミンやカルシウム等の栄養を摂れる食べ物や、被災者支援制度の情報を求められることもありました。避難者から、「ある日突然テレビで見えるような災害が起こり、今までの常識が全く通じない状況に陥った」「皆で助け合って道路の復旧作業を行い、物資が届くようになりほっとした」と、当時の様子をお聞きしました。

避難所を巡回する中で、播磨町から派遣されたことを伝えると、遠いところからありがたいと感謝を伝えられることもあり、播磨町のことを知っている人もいらっしゃいました。

今後も避難されている住民の一助となるよう、本町も引き続き尽力して参ります。

☎ 総務課 079-435-0357
健康福祉課 079-435-2611

避難所での生活を支援するため、担当地区の避難所を巡回し、困りごとや必要な物資の聞き取り調査を行いました。避難所には十分な水やインスタント食品が揃っていたこともあり、ビタミンやカルシウム等の栄養を摂れる食べ物や、被災者支援制度の情報を求められることもありました。避難者から、「ある日突然テレビで見えるような災害が起こり、今までの常識が全く通じない状況に陥った」「皆で助け合って道路の復旧作業を行い、物資が届くようになりほっとした」と、当時の様子をお聞きしました。



▲珠洲市内の避難所の様子

珠洲市で避難所支援を行いました

避難所での生活を支援するため、担当地区の避難所を巡回し、困りごとや必要な物資の聞き取り調査を行いました。避難所には十分な水やインスタント食品が揃っていたこともあり、ビタミンやカルシウム等の栄養を摂れる食べ物や、被災者支援制度の情報を求められることもありました。避難者から、「ある日突然テレビで見えるような災害が起こり、今までの常識が全く通じない状況に陥った」「皆で助け合って道路の復旧作業を行い、物資が届くようになりほっとした」と、当時の様子をお聞きしました。

「古宮の獅子舞」が好きすぎて

望月雅友さん（Office Lion Dance所 属）は、播磨町出身の俳優です。高校卒業後、いったんは就職しますが、小学校から携わった「古宮の獅子舞」の影響で、表現することに魅了され、小学校の卒業文集に書いた俳優になるという夢を追い上京。映像監督のもとで芝居を学び、テレビや舞台などで俳優として活動。現在は、おとうさんと一っしょ（Eテレ）のお兄さん「まさとも」としても活躍中です。

2月5日に開かれた委嘱式のあと、会見の中で町内での思い出を尋ねられると、「一番は秋祭り。秋祭りの獅子舞の時期になったら、絶対播磨町を思い出しますよ。今頃獅子舞の会のみんな練習を頑張ってるんだなって」と愛おしそうに答えてくれました。

播磨町ふるさとPR大使は、播磨町にゆかりがあり、町内外で活躍するともに、多くの人から親しまれている方にお願ひし、播磨町が持つ歴史、文化、産業等の誇れる

播磨町ふるさとPR大使を
望月雅友さんに委嘱しました

望月雅友さん（Office Lion Dance所 属）は、播磨町出身の俳優です。高校卒業後、いったんは就職しますが、小学校から携わった「古宮の獅子舞」の影響で、表現することに魅了され、小学校の卒業文集に書いた俳優になるという夢を追い上京。映像監督のもとで芝居を学び、テレビや舞台などで俳優として活動。現在は、おとうさんと一っしょ（Eテレ）のお兄さん「まさとも」としても活躍中です。



▲躍動感溢れる「古宮の獅子舞」の演舞も披露してくれました

特性を広く効果的にPRしていただくことを目的に委嘱しています。望月雅友さんは、これまでに委嘱した岡部祐希さん（民謡歌手）、レイザーモンHGさん（芸人）に続いて3人目です。

今後、播磨町のイベントへの出演や、さまざまな機会をとらえて広く播磨町のことをPRしていただけるようお願いをいたしました。

子ども議員からの一般質問を受けて会議を開きました



▲会議の様子。提出されたすべての質問に対して答弁書を作成しました。

2月26日に開催された第1回播磨町子ども議会（小学生）に先立ち、通常の播磨町議会と同じように町長をはじめ幹部職員が集まり、答弁書の作成についての会議を開きました。

あらかじめ提出のありました子ども議員からの鋭い質問の数々に対し、町職員も慎重な議論・検討を重ね、答弁書を作成しました。小学生からの想いをしっかりと受けとめ、時間を忘れるほど熱のこもった会議になりました。

※表紙に子ども議員側の記事を掲載しています。

☎ 企画課政策調整係
079-435-0356

子ども議会開催
町職員も真剣に取り組みました

播磨中学校生がハンドボールで全国大会に出場！



▲ますますの活躍を期待します

橋本結仁さん（播磨中学校1年SGハンドボールクラブ所属）が、全国大会に出場します。

3月24日から27日にかけて、福島県で開催される令和5年度第19回春の全国中学生ハンドボール選手権大会に橋本結仁さんが出場します。

出場に先立ち、ご家族とともに町長を表敬訪問された橋本さんに対し、町長から大会優勝に向けて、熱く激励をしました。

橋本さんは、ジョセフ蓮池ハンドボールクラブの元クラブ員で、小学校からハンドボールに打ち込んでこられました。令和4年度兵庫県春季小学生ハンドボール大会では優秀選手ベスト7に選ばれるなど、今後の活躍にも期待です！

☎ 企画課秘書広報係
079-435-0356

スポーツで活躍する人たちを表彰しました



令和五年度播磨町スポーツ賞
表彰式を行いました

町のスポーツ振興に功績のあった方や、権威ある大会において優秀な成績を収めた播磨町出身の選手及び指導者の表彰式が2月10日に中央公民館でおこなわれました。受賞者は次の方々です。(敬称略)

- 《スポーツ功労賞》
- 上田 佐登美 (バレーボール協会) バレーボール
- 大垣 恵二 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 《スポーツ勲功賞》
- 田中 信行 (播磨町少年剣道クラブA) 剣道
- 齋藤 卓 (播磨町少年剣道クラブB) 剣道
- 梶谷 達郎 (播磨中学校) 陸上競技

- 《スポーツ優秀選手賞(優秀賞)》
- 播磨ヤマトソフトボールクラブ
- (播磨町ソフトボール協会) ソフトボール
- 澤中 希愛 (播磨町少年剣道クラブ) 剣道
- 澤田 芙月 (奈良大学付属高等学校) (SC21はりま) 剣道
- 【団体】
- 日数谷 隼人 (神港学園高等学校) (SC21はりま) 陸上競技
- 中谷 滯音 (神戸第一高等学校) 陸上競技
- 花神 未來 (播磨中学校) 陸上競技
- 進藤 すず (播磨中学校) 陸上競技
- 寛 琉翔 (明石ボーイズ) 野球
- 川上 慧 (明石ボーイズ) 野球
- 岡本 愛斗 (明石ボーイズ) 野球
- 竹中 凜 (神戸国際大付属高等学校) ハンドボール
- 原田 優飛 (三田松聖高等学校) バスケットボール
- (日本体育大学) 陸上競技
- 《スポーツ優秀選手賞(奨励賞)》
- 松本 宗士 (はりまスポーツ少年団) 少林寺拳法
- 石野 蒼真 (はりまスポーツ少年団) 少林寺拳法
- 若林 咲希 (はりまスポーツ少年団) 少林寺拳法

- 山口 勇雅 (播磨南中学校) 陸上競技
- 榎田 結永 (播磨中学校) 陸上競技
- 大西 莉央 (播磨南中学校) 陸上競技
- 光吉 真依 (播磨南中学校) 陸上競技
- 吉川 美海 (播磨南中学校) 陸上競技
- 角 侑哩 (播磨南中学校) 陸上競技
- 荒木 理緒 (播磨南中学校) 陸上競技
- 小西 拓実 (播磨中学校) 陸上競技
- 播磨町少年剣道クラブA
- 播磨町少年剣道クラブB
- 伊藤 繁樹 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 仲西 杏樹 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 仲西 凜 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 仲西 真理 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 清田 一翔 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 田中 佑磨 (錬心館空手道 播磨支部) 空手
- 佐藤 咲 (錬心館空手道 播磨支部) 空手

教育広報

まちゃんぽすだより



▲座談会「昔遊び」(1年生)



▲座談会「まちづくり」(6年生)

播磨小学校

地域の「大切な人」とともに

播磨小学校では、創立150周年式典の第2部として、学年ごとに地域の方々との座談会を開きました。1年生は「昔遊び」、2年生は「野菜作り」、3年生は「播磨町の歴史」、4年生は「播磨町の祭り」、5年生は「防災」、6年生は「まちづくり」、特別支援学級は「ニュースポーツ」等、各々の学習テーマに沿ってゲストティーチャーの話を聞いたり、質問をしたりと充実した時間となりました。この座談会を生活科や総合的

な学習のきっかけとし、疑問に思ったことを調べて自分なりの考えをまとめたり、学んだことを他学年に広めたりと、各学年で学習を発展させていきました。地域の方々との交流を通して子どもたちは、視野を広げることができ、自分たちを応援してくれる人が地域にもたくさんいるということを知りました。そして、子どもたちにとっても「大切な人」が地域にどんどん増えています。いつも温かく応援してくださる地域の方には、感謝の気持ちでいっぱいです。昨年度頂いたこのご縁を大切に、地域の方々と一緒に子どもたちを育てていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域と学校がオープンになるための取り組み

先日、播磨小学校、播磨南小学校で教職員向けの学校運営協議会に関する研修がありました。その様子をお知らせします。全国的に学校と地域の連携を進める動きが活発になっていきます。これまで各学校には学校評議委員会という学校を評価する仕組みがありましたが、最近では学校運営協議会(コミュニティ・スクール(通称コミスク))とあって、地域の方も一緒に運営を考えた動きが進んでいます。今回は、2つの小学校でコミスクとはなにか、播磨町の地域ではどんなことが起きているかをお話ししました。さらに、先生方のグループワークでは、「学校で起きていることで、地域のみなさんにおいてほしいこと」を話し合いました。例えば、登下校の立番や、放課後のグラウンドの見守り、ミシンやそろばんなどの少し専門性が必要な授業の



▲グループワークの様子

サポートなど、具体的な話がでていました。学校と地域が連携するには、地域から学校への持ちかけ以上に、学校から地域のみなさんへ相談する機会が必要だと感じました。保護者以外が学校に入っていくというのはなかなかハードルが高いかもしれませんが、こういったニーズをつないでいく人や機能があることで、地域と学校の連携が進んでいくように感じました。

まちづくりアドバイザーがお届けする
まちアド通信
協働推進課住民協働係
☎079-43512364

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。